

背景・目的

市内では、縮み丸葉型品種が寒締めホウレンソウとして広く作付けされていますが、剣葉型品種も市内直売所において一定の需要があることから、剣葉型品種について、無加温での10月以降の播種、12月から1月までの出荷が可能な品種を検討しました。

結果

全8品種で調査を行いました。

播種日：令和4年10月7日[作期1]，10月17日[作期2]

無加温二重ハウス内でトンネル被覆，2反復

10月7日播種では、**‘スパイダーデューク’**（トキタ種苗株） **‘福兵衛’**（タキイ種苗株）
‘Z-121’（株日本農林社）が収穫できました。

10月17日播種では、全品種が収穫に至りませんでした。

品種	健全発芽率 (%)	欠株率 (%)	収穫期 (月日)	収穫到達日数 (日)	作業性 (5:易~1:難)
スパイダーデューク	58	23	12/14	68	2
福兵衛	92	0	2/4	120	2
Z-121	92	1	2/12	128	1

生育株の50%が、旭川青果物生産出荷協議会ほうれん草部会出荷基準のM規格に達した日150g/袋とした場合の3品種の出荷可能数を試算した結果
‘スパイダーデューク’に対して‘福兵衛’で約1.7倍
‘Z-121’で約1.6倍という結果となりました。

品種	規格内収量 (kg/a)	出荷可能数 (袋)	スパイダーデューク 出荷可能数比
スパイダーデューク	130	866	1.00
福兵衛	221	1,473	1.70
Z-121	201	1,340	1.55



結果の活かし方

10月上旬に播種し、無加温条件下において栽培及び出荷するためには、以下の品種を推奨します。

収量・出荷袋数は少ないが、12月中に収穫を終えたい場合は**‘スパイダーデューク’**
2月以降の収穫になるが、収量・出荷袋数を多くしたい場合や、1月中にS規格で出荷したい場合は**‘福兵衛’** **‘Z-121’**



スパイダーデューク(TSX-713)



福兵衛



Z-121